

山に基く脱退を見た」ことは當然清算すべきものを清算したので依然として組合會議は「日本労働組合運動の中堅として、其の陣容を確立」していることは變りはない。左に松岡議長の本問題に就ての答辯を再録しその経緯を明にする。

「總聯合の諸君が、運動方針に根本的相違があるとの理由で今日突如脱退されたが、我々は今日まで大會はもとより、執行委員會、評議員會其他の會令に於て、總聯合が脱退をなさればならぬ様な態度は毫末も執つてゐない。勝手にメーデーを排撃して産業祭に参加して居た事に對しても内心苦々しいと思つてゐたが、組合會議の第一の目的たる融和親睦の精神からじつと堪へて會てそれを統制問題として取扱はなかつた、彼等も産業協力を謂ふ。産業協力とは一体何か。昔から相手が悪ければ二十四孝も出来ない云ふ言葉がある。親子の間柄にて既に然りで、況んや勞資關係に於ては尙更である。若し資本家にして國家産業指導の觀念なく、他迄も資本主義的精神を以て労働者を自らの私物視し搾取を事とする場合、我々は眞に愛國の立場から敢然超つて此等資本家に徹底的反省を促されば止まないものである、此の意味に於て我々の産業協力は斷じて羊頭を掲げるのではない。自らが加盟する

團體の主張に反對し、自らの僚友團體を誹謗し譏誣する總聯合の遺口に對しては、少しおかしきと思ひつゝも、早晩總聯合内部に健全なる分子の擡頭することを強く信じて今日まで隱忍自重して來た我々は今日彼等の理不盡な脱退を見たが、今後は互に協力一致して進みたい」

「八月二十五日擴大執行委員會では、總聯合提出による産業協力徹底に關聯し、從來のメーデーを廢し勞資一体たる産業祭執行の件に就いてはメーデーに對する總聯合の從來とつて來た態度に就いては組合會議は勿論望ましいことではないが、組合會議の第一の目的たる融和親睦の精神から特に從來組合會議内部に於ける統制問題として取扱つて居らぬ経緯に鑑み、今更かくの如き問題に於ける統制問題として取扱はぬこととした」と申合せをした。尙同席上では、勞資一体の産業祭と云ふが敢て組合會議の主張と言はず凡そ多少でも社會政策的な案件と云へばそのことと對して反對してゐる全産業聯に對して、一緒に産業祭をやませうと持掛けるのは徒に物笑ひの種になるばかりだと云ふ意見も出でそれと云ふ、いや我々がメーデーに参加しないのを非難される向があるものと云つた風に列席の森執行委員も充分諒解して歸られた筈で、今更此の問題で根本的な相違の何だのと全くおかしな話である。」

産業と労働の統制に關する建議

今日の世界の資本主義の行詰りは必然に其の經濟機構の變改を招來し、産業及労働に對する國家的統制は今や世界の風潮と

なりである。由來自由主義の傳統を誇る米國に於てすら産業復興法の實施を見たるが如き此の趨勢を實證するものである。

然るに我が國社會の眞情を見るに近時の軍需インフレ並に輸出産業の跛行的、一時的好況は、徒らに内は労働強化による資本の專横を恣にし、外はソシアリズム問題を中心に関稅障壁による日貨排斥となり、又物價騰貴により國民の生活は極度に苛やがされるに至り、一般産業の不況による失業者の増加は農村の窮乏と相俟つて益々現在經濟組織の矛盾と缺陷を深刻化せしめ、眞に國家非常時を現出しつゝある。而して此の現下の國家非常時を打開するの道は茲に健全なる國民經濟を再建し、國民生活の安定を計る事が急務なりと信ず。其のためには國家の産業及労働の統制政策を根本基調とし、産業に適正なる統制を加へ、資本の不當なる擡取を抑制すると共に、労働に統制と規律を與へ、進んで産業協力の實を擧ぐる事が絶対に必要である。且つ現今の世界の情勢並に經濟組織の行詰りは、凡ゆる問題は個別的の解決を許さざるものあり、國家的大局に立つて、全面的解決を要求しつゝある。吾等は此の見地に立ち、本大會に於て左の如き要項に基く産業労働統制に關する對策を決議す。政府は速やかに左記要綱を實施すべし

産業及労働に關する要項

(一) 労働行政

産業労働省を新設し、關係行政事務の統一を圖り、更に労働、企業兩者代表を主とする諮問委員會を設け、産業及労働の統制に基調を置く舉國的協力を實現すべし

(二) 産業統制

- (イ) 重要産業並に次産業は國營若しくは國家官理を終局目標とし、公益の精神に則りて指導監督を行ひ之を統制すべし
- (ロ) 此の目的遂行のため政府は産業統制局を設置する前提として産業計劃調査機關を設くること。